

令和8年度 第1回弥富市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和8年8月7日（金） 午後2時30分～4時00分
2. 場 所 弥富市役所みなともまちなか交流館 3階 会議室
3. 出席者 市 長 安 藤 正 明 副 市 長 村 瀬 美 樹
教育委員会
教 育 長 高 山 典 彦 教育長職務代理者 阿 部 康 治
委 員 浅 野 美 喜 子 委 員 矢 野 浩 一
委 員 宇 佐 美 貴 江
4. 説明者 教 育 部 長 渡 邊 一 弘 教 育 部 次 長 吉 川 博
学校教育課課長 藤 井 清 和 学 校 教 育 課 主 幹 三 浦 聡
生涯学習課課長 飯 塚 義 子
学校教育課課長補佐 日 原 友 美 生涯学習課課長補佐 栗 本 卓 典
5. 開 会
6. あいさつ
7. 議 題
 - (1) 学校教育関係
 - ① よつば小学校の整備状況について (資料1)
 - ② 「弥富市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定について (資料2)
 - ③ 学力テスト結果 (資料3)
 - ④ いじめ・不登校者数等報告 (資料4)
 - ⑤ スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用状況 (資料5)
 - (2) 生涯学習課関係
 - ① 十四山中学校跡地利活用における整備方針(案) (資料6)

② 部活動の地域展開等推進事業の進捗

(資料 7)

(3) 報告事項

- アジア・アジアパラ競技大会採火式・聖火リレーについて
- アジア・アジアパラ協議会大会観戦について
- YATOMI スポーツフェスティバルについて

(資料 8)

(資料 9)

(資料 10)

(4) その他

8. 閉 会

.....○.....

5. 開 会

- 部長より では、ただいまより、令和8年度 第1回弥富市総合教育会議を開催したいと思います。よろしくお願いします。

.....○.....

6. あいさつ

- 部長より 始めに安藤市長よりごあいさつ申し上げます。よろしくお願いします。
- 市長より 皆様こんにちは。第1回目の弥富市総合教育会議に、大変暑い中ではございます。またお忙しいところ、本会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。先月26日ですが、市政施行20周年を記念しました弥富夏祭りを開催させていただいたところです。当日は暑い中ではありましたが、1千人くらいの方にお越しいただいたのではないかと考えているのですが、砂埃が上がる中でもありましたが、マルシェ、キッチンカー、盆踊り等で夜まで楽しんでいただきまして、フィナーレには8時半に花火を上げることができました。多くの企業の方、また個人の方にもご協賛をいただきまして8分ちょっとの花火でございましたが、私が言うのもなんですが大変すばらしい花火であったと思います。また次の10年、20年に向けた希望の花火でもありましたので、市民の皆様に見届けていただけてよかったと思っています。また8月1日には3つのコミュニティで盆踊りを開催させていただきました。それぞれの会場は大変な賑わいでありまして、夏の風物詩の1つとしてコミュニティの盆踊りも必要ではないかと強く感じたところです。まだまだ暑い日が続きますが、皆様方もお体ご自愛いただければと思います。さて、弥富市は第二次弥富市総合計画の中で心豊かで文化を育む人づくりの町を本市が目指す教育理念として掲げています。それを踏まえて引き続き学校教育の充実、生涯学習活動の充実、スポーツ、文化芸術の振興、青少年の健全育成に務めていく所存です。少子化が進んでいる現状を踏まえ、弥富市の将来を担う子どもたちがどのような環境で学ぶのが望ましいのか、本日の議題として挙がっていますので一緒になってご審議いただければと思います。本日の会議、よろしくお願いします。

.....○.....

7. 議 題

- 学校教育課課長より ここからの議事進行は本会議の招集者であります安藤市長にお願いします。
- 市長より 次第に沿って進めていきます。次第3. 学校教育関係、よつば小学校の整備状況について事務局から説明をお願いします。
- 三浦主幹より 緑色のクリップ留めの資料をご覧ください。緑色の資料をもとに、資料1から4までを添付しています。緑色の資料については再編計画を進めている5部会ごと明記した資料です。最初に学校運営部会について吉川次長より説明をします。
- 次長より 学校運営部会の状況について。資料1。よつば小学校の教育目標と経営方針です。この内容についてはよつば小学校の学校経営案の頭の部分です。よつば小学校の教育目標を、「幸せに気づき、幸せを広げる」とします。ここに4つの教育目標がありますが、その一番大きなものがこれです。よつば小学校の校歌も4番まで設定しています。その4番は幻の歌、卒業生が卒業式に歌う幻の歌。6年間をかけて叶える目標ですので、それになぞらえて4つの目標。そして、一番大きな目標を教育目標として掲げています。(2)として、目指すよつば小学校の姿を4点。目指すよつば小学校プロ教師集団の姿を4点、記載をしています。裏面、さらにそれを具体化した方策を書きました。先ほどの目指すよつば小学校像の1に値する、地域とともにある学校、学校を核とした地域コミュニティの活性化、この実現のための具体的方策を5点書いてあります。また、目指すよつば小学校像の2、授業研究改善です。いかにして主体的対話的で深い学びを実現するかということで具体的な方策を2点挙げています。インクルーシブ教育の実現する特別支援教室として、これは目指すよつば小学校像の3に値するところで3点挙げました。人生100年時代ということでその体力の礎をつくる必要があります。体力向上プロジェクトとして2点を挙げています。その他の方策として心の教育を図る充実。現在、スリンプルプログラムというものを再編対象4小学校において共通して研修を深めています。開校してもすぐにこのプログラムが4つの小学校の子どもたちが集まっても進められるように進めていきます。情報モラル教育、デジタル・シチズンシップ教育を実践しています。校内現職教育を活性化させていくために教員の持ち味を活かした、校内研修を進めていくということ。そ

して働き方、休み方改革を図っていくこと。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの連携などを挙げています。こういったことが学校経営案の頭にきます。その学校経営案の中身ですが、現在、弥富市教職員会、たくさんの協議会がありますので、それぞれの協議会の専門性によって中身を作成をしています。10月末までにそれぞれの案が出てきますので、集約して、よつば小学校学校経営案の草案を作っている運びです。

今度のよつば小学校の校歌についてですが、昨年度末までに校歌の歌詞が出来上がりました。本年度に入ってから6月末に楽曲が出来上がりました。音源と楽譜が届いていますので、それを元に第4回、校歌制定委員会を開催し、検討をしていきます。

- 三浦主幹より 続いて、教育計画部会の表枠をご覧ください。こちらの部会は順調に子どもたちの交流が進んでいます。1枚目の裏面です。すでに本年度の1年生の交流会は終わったのですが、今後2年生から6年生までの交流会をご覧のように進めていきます。7月7日ですが、本年度初の試みの4小学校の特別支援学級の交流会も実施することができました。保護者の方も大勢参加していただき、すごくよい会になりました。保護者の方もつながっていただける会に、今後もしていきたいと思っています。そのため2年生から6年生までの交流会においても今後、保護者の方にも呼びかけて参観していただけるよう発信をしていきたいと思っています。また嬉しいことに12月にも、第2回の特別支援学級の交流会(きらきら交流会)を開催する予定です。子どもたちが順調によつば小学校での人間関係をつくれることを目指して進めていきます。7月22日(水)は、よつば小学校修学旅行業者選定委員会を行いました。プロポーザル方式で行い、無事、業者を選定することができました。「その他」のところをご覧ください。本部会では令和9年度9月29日、30日に、美浜自然の家で4小学校合同野外活動を行います。これについても具体的に今後検討していきます。また、よつば小学校の生活の基盤についても来年度4小学校保護者の方にご提示できるよう進めていきます。さらに、卒業アルバムの構成についても、今後、今の再編4小学校の分と、よつば小学校になったページが合わさります。どのように構成していくか検討してきます。

続いて、施設資料部会の表枠をご覧ください。備品のことから説明します。部会等の開催についての経過報告は、順調に教科等備品の現物確認を4小学校で先生方の力を借りながら行い、よりよい備品がよつば小学校に移管できるよう進めています。また8月19日に、残りの教科等備品の現物確認を4小学校の先生方と市教委で確認をする予定です。また360度カメラの記録写真も6月に撮ることができましたので、

今後、閉校式に向けてホームページを開くと 360 度の画像で、いつでも、この 4 小学校を懐かしみながら市民の皆様が見られるように整備を進めていきます。プールですが、十四山西部小学校において本年度より水泳指導業務を業者委託しています。子どもたち、保護者、教員のアンケート結果は、多くのプラスの声を聴いています。詳しくは、このあとのアンケート結果報告でお伝えします。2 枚目、上の表枠をご覧ください。よつば小学校の建設において、夏休み期間を利用して既存校舎の一部、主に理科室などを中心に改修をしています。新築棟も基礎ができてきて、既存校舎にも工事が進んだというところです。今後、令和 8 年度 3 月に増築棟の工事終了予定としています。令和 9 年度にはプール解体及びロータリー、駐車場増設工事、体育館改修工事、既存棟改修工事、給食室等増改築工事などお願いしています。資料 2、資料 3 をご覧ください。資料 2 では前年度の 3 月上旬に総合教育会議でお伝えした以降の工事の進捗状況を写真で載せてあります。今週末までの主な工事の様子をまとめていますのでご覧おきください。資料 3 ではプールが解体された鳥瞰図とともに、資料 3-2 では外構中心ですが、プールや東側畑や学級園になるような部分の変更点を示した図面もあります。

通学路スクールバス部会の表枠をご覧ください。1 学期間では昨年度、保護者の方、地域の方にもお力添えをいただきました 4 小学校区危険箇所には挙げられた場所を中心に、土木課や都市整備課のお力も借りながら打ち合わせを進めています。蟹江警察にも何度か出向き、規制系の危険箇所の対応について、打ち合わせを進めています。本年度はじめて 7 月 14 日に保護者の方、PTA 会長などを集めて第 1 回通学路スクールバス部会を行いました。この部会でよつば小学校、十東小、十西小校区の徒歩通学路を検討する部会を 8 月 26 日に開催することが決まりました。本年度は徒歩通学路を作成することを目指しています。8 月 17 日（月）には栄南小学校の狐地公民館のバス停付近で、その利用される予定の保護者の方と蟹江警察、学校教育課も立ち合い現地確認会を行い、少しでも保護者の声を警察に届けて一緒に共通理解を図る会も新たに設けています。保護者の方の声を今後も大切にしていきたいと思っています。最後に、スクールバスの契約についても、今、プロポーザル方式により事業者を選定予定で動いています。続いて、地域学校協働部会の表枠をご覧ください。ここからは吉川次長お願いします。

- 次長より よつば小学校には地域学校協働活動を取り入れたいと考えています。資料 4。地域学校協働活動では幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えています。学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携、協働を行うとしています。具体的には①学校にはカリ

キュラムがありますが、そこの中に特色を設けていく。特に社会に開かれた教育課程として、地域資源を活用したり、地域の課題を解決するような形の総合的な学習を展開したり、ふるさと学習を展開したり、あるいは地域防災をテーマにした学習を展開したりと、探究的な学びを主に取り入れていきます。もう1つは、学校支援活動です。登下校の見守りであるとか、学校の環境整備だとか、子どもたちに本の読み聞かせをしていただいたり、授業の補助をしていただいたり、地域の企業による出前授業や企業も参画した授業の創造などを考えています。そのために地域学校協働本部の設置を考えています。地域学校協働本部とは、地域住民や団体、企業などが学校と組織的に連携をし、ボランティアや学習支援、安全見守りなどをコーディネートする、いわゆる拠点組織です。その中でお勤めいただくのが地域学校協働活動推進委員という方を選定をして配置をしていきます。その方が地域と学校とのコーディネーター役を果たしていただく。これを具体的に9年度から推進委員を配置して、10年度からの学習活動開始に向けて、地域との協働を検討していきます。またこの部会においてはPTAの再編についても進めてきました。ここまでによつば小学校のPTAの規約なども出来上がっています。実際によつば小学校のPTAが立ち上がるにあたり、4小学校からも役員を選定していかないといけないので、そのあたりの道筋もできています。今、具体的にはPTAの慶弔規約がありますが、これを作っているのが市内共通で市P連です。市P連で慶弔規定についても見直しを図っているところです。ちょっと古い考えに基づいたものですので現代に合わせたものを作っています。

- 三浦主幹より 最後に小学校再編だよりを、先回の総合教育会議以降に発行された3号分を添付しました。2回分の再編委員会のご質問ご意見等を載せたものや、1年生のわくわく交流会や4小学校の保健室の養護教諭による備品現物確認、そして、第1回地域学校協働部会の様子を載せてあります。
- 学校教育課課長より 少しだけ補足を。三浦先生から施設資料部会で令和8年度の建設工事のことで、令和8年3月に増築棟の工事が終わる予定と話をさせていただいたのですが少し諸事情により工期が遅れています。次第と一緒に配った添付資料1で、工事概略工程表を付けてあります。中段あたりに新增築工事として、躯体工事、仕上げ工事、設備工事と記載がありますが、令和8年3月末で工事予定してあると説明がありましたが、令和9年6月までグラフが延びています。こちらは現在、特殊な鋼材の納品が非常に困難となり、当初、令和9年3月末の予定だったのですが3カ月ほど遅れが生じています。この影響で新しい校舎への引っ越しの時期が春休みから夏休みへと、後ろ倒しとなりました。また給食室の工事の着手も全体に工事が遅れる兼ね合いで東部小学校からの給食配達期間については、当初令和9年9月末までの半年

間程度を予定していましたが、変更後は令和 10 年 3 月末までの約 1 年間に延びる見込みとなっていますので、この部分を補足させていただきます。

- 市長より よつば小学校の整備状況について 5 つの部会に分けてご説明をいただきました。それ前の定例教育委員会でどのようなご意見が出ましたか。ご意見ありましたか。なかったですか。補足として工事がちょっと遅れているということですので、令和 10 年 4 月の開校には間違いなく間に合わせるということですので、その間の工事が前後するようなことがあるかと思いますがよろしくお願いします。ご意見がないようですので、議題①は終了とします。②弥富市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について、資料 2。説明をお願いします。
- 次長より 別綴じ資料 2 です。この資料については昨年度中に一度提案をさせていただいています。今回どうして再提案をしたのかというと 1 ページ目の下に表があります。令和 7 年度の時間外在校等時間の状況。これが 3 月末の時点で数値が入りました。時間外在校等時間、勤務時間外ですが、小学校で 33 時間 48 分、中学校が 50 時間 9 分。市全体としては 41 時間 53 分という結果が出ましたので、数値を入れました。次のページ。目標値について記載をしました。令和 7 年度の現状値が一番左にあります。先ほどの表と同じ数字ですが入りましたので、ここに記載し、令和 11 年度までの目標値を掲げました。またストレスチェックにおける健康リスクの値については 7 年度は実施していませんので、8 年度実施以降、目標値を定めて記載をします。きょう、このままお認めいただけましたら市として公表をしていきます。
- 市長より ただ今のご説明に対しましてご意見のある方はお願いします。令和 11 年度は 45 時間を超える割合を 0 にするわけですね。特になければ次へ。③学力テストの結果、資料 3 について。
- 三浦主幹より 資料 3 の令和 8 年度全国学力・学習状況調査の小学校の資料をご覧ください。こちらの表枠の一番上が今年度の小学校 6 年生を対象に行われました、国語、算数の結果です。青色で表示されている数値が全国の平均として表されている数値です。その下の、赤色は青色の数値よりも高い数値となった学校の国語、算数の結果を表しています。小学校については国語も昨年度同様に全国よりも上回っている学校が多いという結果になっています。算数においても昨年度よりも倍に増えたという結果です。裏面は中学校の結果です。中学校 3 年生を対象に、今年度は国語、数学に加えて英語の調査がありました。英語においては 3－2 の IRT スコアという形で数値が表されています。こちらは 500 の数値を基準に上回れば平均値よりも上、下回ればその逆になるということです。青い数値よりも国、数、英、全て全国より下回っているのが今回の結果として出ています。毎年、違う学級・学年の生徒が調査を受けてい

るのですが、その影響も毎年度毎年度、いつも同じではないということもあるかと思いますが、2中学校がこのような結果であることは何が原因なのか学校とも情報共有をしながら、必要な手立てを打つ必要があると考えています。中学校が来年度よい結果となるよう具体的手だてを検討してまいります。今回、英語においては「聞くこと」・「読むこと」・「書くこと」の3技能の結果でした。「話すこと」の項目においては秋ごろの結果発表となっています。また分かりましたらそちらもお伝えします。

- 市長より 中学校のほうがということですが、来年度は大丈夫ですか。課題を洗い出していただいて、皆さんで検討しながら子どもたちの学力向上に努めていただければと思います。ご意見のある方がいましたらお願いします。次、④いじめ・不登校者数等報告、資料4について。
- 三浦主幹より 資料4の①生徒指導報告と書いてある資料をご覧ください。不登校の状況が示されています。一番上は令和4年度を示しています。4年度から5年度、5年度から6年度までの不登校者数においては小、中とも増加の一途をたどっていましたが、令和6年度から7年度においては、小、中ともに減の結果となっています。この要因はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーのつながりや早期対応がそれぞれの子どもたちとできたことが要因として考えられます。また教育支援センター「アクティブ」や民間のフリースクールなど、学びの場が多様化していることも要因の1つとして挙げられます。そちらも出席できれば学校の出席と同じように扱われるということも関係しているのかと考えています。令和8年度の数値は7月現在ですので、今後、様子を見守りながら7年度よりも数値が減ることを願いたいと思います。そのために今のような子どもたちに多様な学びの場を保障していくことや、より学校だけでなくさまざまな機関とも連携していくことが大切と考えます。令和7年度の不登校で一番多い理由が、小中学校とも無気力であるという結果が一番多く挙げられます。ついで、いじめを除く友人関係、不安からくる不登校の理由が挙げられています。こちらは6年度から変わっていません。また、スマホ等の普及による生活リズムの乱れやSNS関係のトラブル、家庭環境によるストレスなど、子どもたちを取り巻く環境によっても不登校が起こっています。発達の特性もひとつ大きな要因となっているケースも多くみられますので、個別に対応できるような体制を整えていく必要があります。減に転じた6年度から7年度を鑑みると、今、弥富市が行っていることをさらに継続するとともに、よりきめ細かい対応をしていき、8年度もさらに減ずることを願いたいです。裏面をご覧ください。「3. 今後の取り組み」として、1から5番のところも今年度も大切にしていきます。④についてはアクティブに通う児童生徒の令和3年度から7年度までの数値です。7年度においてはアクティブの利用がかな

り減っています。中3での学校復帰が昨年度多かった結果の数値となっています。ただ、まだこの数がより少なくなっていくことが非常に大切ですので、アクティブとも情報共有、連携していきたいと考えています。「2. いじめの状況」をご覧ください。令和7年度では重大事態が2件発生しました。2件中1件は報告書をまとめる段階で、さらに公表準備の直前の段階です。この重大事態においては公表後も、報告書をまとめたからといってそこで終わりではなく、今後も長く子どもたちを見守れる体制をとっていきます。「②令和7年度いじめ累計件数」をご覧ください。解消済みもあります。それと同じくらい新規の事案も挙がっています。また「8年度のいじめ累計件数」もご覧のとおりです。この数が少しでも減るように、事前に対応できるような、予防的な手立てを学校とともに打っていく必要があると考えます。いじめの認知件数が多いのは積極的認知を進めてきた結果で、逆に見逃し件数ゼロとすることを目指して、少しのいじめの芽も摘めるようにという意識で学校には挙げていただいているので、この数字となっています。常に多くの目で子どもたちの様子を見守っていき、早期発見、早期対応を進めてまいります。

- 次長より 資料4②。調査主体として学校設置者である教育委員会が諮問する第三者委員会方式によるいじめ重大事態調査にかかる報告をします。先ほどの2件中の1件です。この調査の目的は当該重大事態の対処への認知、同種の事態の再発防止策を講じるものにあります。昨年度、10月22日を調査開始日として、現在は第19回、7月31日（金）までが済んでいます。8月中の開催はありませんが、第20回が9月4日（金）に予定されています。今、調査報告書が出来上がりつつあります。教育委員会に対して答申するために最終段階の検討、調査報告に入っています。このままいきますと9月中のどこかで完成かもしれませんが、慎重に審議がなされていますので、まだこれからの予定については未定とします。このように進んでいますので報告しました。
- 市長より ただ今、いじめ不登校の報告がありましたが、このことについてご意見があればお願いします。
- 副市長より 不登校の出現率の2.66件（89%）、現実には非常に喜ばしいことなんですけど、全国平均に比べるとどうなんでしょうか。愛知県平均でも結構なんですけど、そういうのはわからない？分かってなければ分かったときに教えていただければ結構です。もう1つ。不登校の理由の無気力というのは、子ども自身が無気力というところにチェックを付けるんですか。
- 三浦主幹より 学校で挙げている数です。
- 副市長より 先生が、この子は無気力だと判断した子は無気力になるということ？

- 教育長より 文科省の設問のところが、「不安・無気力」とまとめた理由だったかな、確か。ぼくはそこを分けてくれと言っているんですが。
- 副市長より そうだね。分けてあると。
- 教育長より 不安と無気力は違うと思うんだけど。でも文科省が不安と無気力が同じ扱いに。
- 副市長より そうすると、この書き方としては、不安・無気力だととればいい、ということですか。
- 教育長より そういうことですね。
- 副市長より 先生の見立てが無気力ということか。
- 教育長より 要は、具体的に身体的に体調不良ではないのに学校に行けないと。しかも、あの子がいやだとか先生が嫌だとか具体的な理由がなければ無気力に計上すると思います。
- 副市長より 全部そこに入っていくんですか。だからすごく多いんですね。半分の方がこういうところを書くというのは、無気力というのはなんだろうかと思ったんですが。全部を排除していった残りが、全部ここに集約される、無気力という解釈で。
- 教育長より 昔にいた無気力とはまたイメージが違いますが。今の子だとどちらかというと、人と関わるのがちょっと苦手というのがきっとそこに入ってくる。不安でもないし無気力とはまたちょっと違う。やっぱりコミュニケーションがちょっと苦手。ちょっと1人でいたいわとか。
- 宇佐美委員より あとコロナの影響もあると思うんですけど。汚いから行きたくないとか。学校が。学校に行くまでの道中とか家から出られないという子も中にはいて。アクティブとかも勧めるんですけどアクティブは汚いから行かないとか言われる方もいらっしゃるの。今は新しくなったのできれいですよと話をするんですけど。前のところはちょっと汚かったので行けなかったんですという方もいらっしゃいましたし。
- 副市長より そうすると、なんでしたか、専門のそういう・・・。
- 教育長より 前にも話をさせていただいた校内教育支援センターですね。
- 副市長より そういうのを作ってもだめなんですね。
- 教育長より 人それぞれでしょうね。
- 宇佐美委員より 全体にそうじゃないんですけど、ちょっとやだなって思っている人もいて。
- 市長より それは親が代弁されるんですか。
- 宇佐美委員より 私は直接、その子の親から聞くので。子どもさんとは直接話す機

会がないのですからお母さんと話す機会があって、学校にも行かないし、行けないんだわって。アクティブとかもあるんですけど。

- 副市長より ほかにないんだろうか。
- 宇佐美委員より リモートでやってほしいなっていう意見はあって。タブレットが1人1台ずつあるから学校と直接リモートでタブレットで先生と話だったら家にいてもできるので、そういうのはできませんかと言われたことはある。
- 副市長より そうすると、学校の主の目的の集団という部分が全然だめですね。
- 三浦主幹より 副市長様のご質問ですが、令和6年度のものが、今のところ文科省から出ている最新のもので、小学校の平均は約2.30%、中学校が約6.79%という結果が出ています。小学校においては6年度においては1.3%ほど弥富市が高く、中学校においては0.4%ほど高い状況になっていますが全国に近い結果となっています。
- 副市長より 近いところまで減少してきたということですね。ありがとうございます。
- 市長より ほかにご意見はよろしいですか。次、④スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用状況について事務局から。
- 三浦主幹より 資料5をご覧ください。スクールカウンセラーの弥富市における配置数の充実度においては、他市の指導主事からもいつも「弥富市がうらやましい」という言葉をいただいております。現実もその通りだと感じています。ありがとうございます。この8年度における弥富市のスクールカウンセラーの配置においては、新たに男性のスクールカウンセラーの方を両中学校に今年度より配置していただいています。また、やとみ子ども相談室「カラフル」においては今まで月2回の隔週の土曜日のみでしたが、本年度においてはさらに月1回、平日も開設されており、市民の方のニーズにさらに答える体制を整えていただいております。下の表枠は今年度のスクールカウンセラーの体制です。2をご覧ください。このスクールカウンセラーのカウンセリング以外の活動状況について①から⑧のような活動もしています。特に「③発達検査・WISCの検査」や「⑦緊急時の支援」のところで昨年度は利用をしました。③は就学相談や教育相談等で子どもたちの特性を知り、より適正な学びの場を判断していく際に活用しています。⑦においては昨年度、弥生小の担任の先生が亡くなるという悲しい出来事がありました。その際の子どもたちや先生方への緊急支援ということで活用しました。③においてスクールソーシャルワーカーの配置及び相談状況について記載しています。今、市教委に1名と日の出小に1名、計2名配置していただいています。このスクールソーシャルワーカーの先生方において、「①不登校対応」・「⑧家庭環境に対する対応」・「⑩発達に対する問題」の特にこの3つが多く、対応し

ていただいています。また「④児童虐待」の件においては、こちらも児童課の担当の方とも連携をしていただきながらスクールソーシャルワーカーの皆様に動いていただいています。

- 市長より ただ今の説明に対して、ご質問のある方はお願いします。
- 副市長より カラフルの利用状況、次回のときで結構ですが、年度ごとに分かる表を作っていただけると、今、月1回、平日にも開設だということが、どれくらい利用していただいているのかということも分かりやすくなるかと思いますのでよろしくお願いします。
- 三浦主幹より カラフルは予約が1カ月、2カ月先くらいまで埋まっている状態で、フル活用していただいています。本当にありがたく、むしろ利用されたい方が多い状況です。それもやはり18歳までのお子様やその保護者の方も対象となっているところで市民の方はありがたく思っているという声を聞きます。これも弥富市ならではのありがたい事業です。
- 市長より ほかに質問はよいでしょうか。続いて（2）①十四山中学校跡地利活用における整備方針について。
- 生涯学習課課長より 資料6。十四山中学校跡地利活用における整備方針（案）において、23ページにわたる十四山中学校跡地利活用における整備方針案については、赤字の変更、修正された箇所を中心に説明します。

1ページ。目次5．弥富市学校跡地利活用基本方針に基づく検討1と2を入れ替えました。

3ページ。これまで検討してきた経緯についてまとめています。令和7年9月から各種説明会、パブリックコメントによる意見を検討しました。令和8年4月から7月には市民活動団体へのアンケート。民間事業者へのサウンディング調査。8月には総合教育会議を開催し、整備方針案について再協議しました。8月以降については予定として掲載しています。

6ページ。学校建築物に係る法規制については都市計画法が中心でしたが、学校の目的を変えるのなら建築基準法や消防法などの関係法令が必要になることを記載しています。

9ページ。（1）地域の活力につながる利活用の検討と整備の方向性として、①十四山地区意見交換会の内容を記載しています。令和8年5月10日、6月10日に十四山地区の区長、区長補助員の方々の意見交換会を開催しました。特に防災面では避難所として利用していた学校の跡地をどう活用するのか検討する前に、防災計画、都市計画を示すべきである。海翔高校が避難所として利用できなくなったあと、どこへ避

難すればよいのか分からないなど、防災機能の維持、確保について早急な説明を求める意見がありました。また市長や議会も含めた説明の場を設けるべきであり、教育委員会としての方向性を示すべきであるなど、行政の説明や住民との継続的な会話を重視する意見が寄せられました。さらに十四山中学校跡地だけでなく、十四山東部小学校跡地や三ツ又池公園、三ツ又池周辺、海翔高校跡地も含め、市全体で一体的統一的まちづくりを検討すべきであるなど、市の対応の遅れを指摘する声もありました。学校跡地等の活用方針については公共施設としての活用を優先すべき、民間売却ありきで検討しているように見受けられるといった声もありました。これらの意見から学校跡地の利活用にあたり、防災計画や都市計画など関連計画と将来ビジョンを分かりやすく説明したうえで、行政の説明責任や住民との合意形成を重視して進めることが大切と確認しました。

10 ページ。②令和7年度に実施された整備方針案における住民説明会での内容を記載しています。令和7年7月26日に開催した住民説明会では硬式野球場整備案に対して、すでに市内に野球施設がある中で新たな整備が必要なのか分からない。硬式野球場はほかの用途などで利用しにくいなどといった声があり、計画の目的や根拠を示すよう求める意見が寄せられました。避難所の配置や収容人数、防災機能の維持、強化について、具体的な説明を求める意見など防災機能に関する意見や、さらに情報発信や合意形成の進め方についても住民説明会資料を事前に公表してほしい、住民意見を反映できるよう計画内容を見直ししてほしいなど住民との継続的な対応の必要性を求める意見が寄せられました。

11 ページ。③令和7年8月1日から9月1日の期間で実施されたパブリックコメントでの内容を記載しています。パブコメでは防災機能の充実を最優先に求める意見が寄せられ、避難機能や備蓄機能の確保、防災体制の強化を重視する意見が寄せられました。平常時は交流施設、災害時は避難施設となる複合施設への期待。一方グランド整備や硬式野球場整備については計画の妥当性や必要性について慎重な検討を求める意見。また多目的広場や防災公園などの他の活用案も検討すべきとの声もありました。

12 ページ。④市民活動団体からの意見として、令和8年6月12日から30日の期間で弥富市地域資源バンク「やとみつけ」の登録者を対象にアンケートを実施した際の意見として、アンケートでは学校跡地を利活用して地域課題の解決や地域活性化につなげたいという多様な意見が寄せられました。防災分野では機能の強化や地域防災活動拠点として活用する意見が。子ども、教育、福祉分野では子どもや子育て世代を支援する施設を求める意見が。地域交流分野では多様な主体が集い、新たな地域活動

の創出につながる拠点として利活用する意見が。産業振興・地域資源活用の分野では地域産業や観光振興、地域資源の魅力発信につながる利活用の意見が。教育、ものづくり、デジタル分野では次世代人材の育成やものづくり、デジタル技術を活用した学びの場として利活用する意見が寄せられました。そのほか、幅広い分野で利活用する意見も寄せられました。これらから「やとみつけ」登録者は学校跡地を単一用途の施設としてではなく、賑わいの創出につながる複合的な施設として利活用することを期待していることが確認できました。

13 ページ。⑤地域の活力につながる整備の方向性について。地域住民や市民活動団体等から寄せられた意向や意見は学校跡地の利活用を検討するうえで重要な要素で、地域の安全安心を確保するための防災機能の維持、強化が重要な課題であることが確認されました。住民説明会やパブリックコメントでは防災機能の優先や複合施設の整備、校舎を利用した試験的实施を求める意見もみられました。市民活動団体からは多様な活動提案が寄せられています。これらの意見から、特定用途に限られた施設ではなく、防災時は防災拠点としながら、複数の用途を兼ね備えた施設が望ましいと考えられます。また県からの地域の活力につながる施設整備のイメージとしては既存校舎を利活用するにあたっては災害に強く、普段は市民が主役となって自由に集まりにぎわうような場所を作るために実際の活動団体から詳しい要望を聞き取って中身を決めていくという具体的な方針を記載しています。そのためにはやはり主体的に関わる人たちにあるような、住民、スポーツ、文化団体、地域、NPOなどが主役となって深く関わっていく必要があると考えます。

14 ページ。既存校舎の状況として、これだけの校舎等を大規模修繕した場合、10億。解体すれば3億と費用がかかることを表にまとめています。

15 ページ。既存校舎の築年数、想定される解体費用、利活用した場合に想定される大規模修繕費用。全ての既存校舎を利活用した場合に想定される維持管理費を試算し、年間5千万円の維持管理費がかかることを表にしています。また既存校舎等を日常的に利用しない場合の維持管理費として、ここでは施設を避難所専用として維持することは日常的な利用がなくても光熱水費や修繕などの維持管理費が発生します。さらに利用しないことにより冷暖房などの設備が正常に動かない事態を招きかねないことから、費用負担や設備の機能維持、将来の利活用を踏まえ、専用施設としての維持は慎重に検討する必要があると記載しています。

17 ページ。施設の稼働率について。黄色は稼働率が低い。施設は空いているのに予約が入らず、結果として利用する人も少ない状況です。ピンク色は稼働率、占有率が高い。施設は予約でいっぱい、常に押さえられている状態です。

18 ページ。⑥行政需要における課題整理として、課題 1 を、意味合いは変わりませんが、具体的に修正しています。⑦現状及び行政需要、課題を踏まえた整備の方向性としても期限を明記しています。

19 ページ。サウンディング調査の結果、令和 6 年 6 月から十四山中学校の学校跡地に上野グランド等の利活用についてはホームページ等を活用し、公有財産活用アイデア募集を実施し、令和 8 年 2 月からは利活用に関するニーズの把握を行いました。サウンディング調査の実施にあたっては専門的な視点から幅広い意見を聴取いたしました。十四山中学校の跡地は市街化調整区域や人口の少なさといった立地条件から民間単独での事業化はきわめて難しいという結果に達しました。一方で上野グランドは高速や港へのアクセスがよいことから、物流施設を中心とした民間需要が十分見込まれることが確認されました。

20 ページ。十四山中学校跡地については今後は防災、地域交流、教育といった、公共性を重視した活用で検討を進めます。また上野グランドについては民間需要が高いことが確認されました。そのため中央にある十四山グランドに統合することで、民間需要を踏まえた活用を検討することができるという方向性について述べています。

21 ページ。まとめとして（１）整備方針のコンセプトでは緑の枠の中の言葉を、「自然と歴史を未来へつなぎ」から、「豊かな自然の中へ」と意味合いは変わりませんが変更しています。（２）整備方針のまとめでは、整備方針の 1 について内容を、築年数や令和 11 年度中までに解体するといった言葉を追加し、③については、上野グランドを十四山グランドに統合することは市の活性化のためであると推定しています。

最後、22 ページ。敷地配置イメージ図では既存校舎の利活用として特別教室棟、渡り廊下を修繕し、グランドとしては多目的グランドを拡張することで、スポーツ、地域の賑わい、そして交流の場として利用できる拠点とすることを示しています。

- 市長より ただ今の説明について、ご意見がございましたらお願いします。私ごとですが、次の会議が 4 時からあります。座長を務めなきゃいけないので副市長に代わっていいですか。お願いします。
- 副市長より では司会を交代します。この件について皆さんからご意見等、ございますでしょうか。よろしいですか。きょう、正副議長と正副議員委員長には上野グランドをサウンディング調査の結果、上野グランドは民間需要に合わせて、十四山中学校跡地については、統合して前の計画とはほとんど変わらないと。いろいろ修正事項を加えながら議会で説明させていただきますという話はしてあります。何もなかったときは、その四役さんという状況ですから、またしっかりと。

- 宇佐美委員より 上野グラウンドのほうが十四山より広いので、狭くなっちゃったら、十四山グラウンドが、今まで使っていた方が使い勝手が悪くなるねというのが、たぶん出るのではないかと思います。
- 副市長より そうですね。上野グラウンドは6ヘクタールくらい。
- 部長より 6万平米ある。
- 副市長より それと、恰好もいいもんですから使い勝手が非常にいいし、またインターから近いもんですから。よそから試合におみえになるときにもあそこのほうが。シニアが結構範囲が広いんですよね。対戦相手の範囲が。だから変わるほうも、愛知シニアリトルも変わるのは嫌なんですよ。嫌がるんですけど市としては、そんな状況で一概にできないものですから。十四山のグラウンドを有効活用するなら、やはりそういう子どもたちの声が聞こえてくる状況、グラウンドとしての利用目的として用途を定めているものですから、そういう意味ではご納得をいただくように努めてまいります。ないようですので、またご意見等あれば最後にまとめていただくこととしまして次へ。②部活動の地域展開等推進事業の進捗について。
- 生涯学習課課長補佐より 栗本です。資料7ですが、次第に合わせて表題を修正するのを忘れていました。申し訳ございません。内容は次第に合わせて、部活動の地域展開当推進事業の進捗について説明します。部活動地域展開事業です。NPO法人の設立と地域クラブ。令和9年9月から休日の部活動の終了に伴い、休日は地域クラブに参加することとなります。地域クラブ活動の運営を目的として令和8年3月に特定非営利活動法人やとみ放課後アカデミー、通称「やとアカ」を設立しました。令和8年10月より3つの地域クラブが先行して活動を開始する予定で準備をしています。3つの地域クラブは何かというと、陸上、フライングディスク、ドローンです。現在の部活動を地域クラブに移行し、既存の部活動の枠にとらわれない地域クラブを創設して、より多くの生徒の参加を促します。国、県の補助金を活用して部活動の地域展開を推進していきます。令和13年度には平日の部活動を地域クラブへ移行する計画で進めています。なかなかイメージしにくいかと思いましたが、うら面にイメージ図を付けさせていただきましたので、こちらを参考していただければイメージ的なものが掴んでいただけるかなと思いますので、あとでご確認いただければと思います。おもて面に戻ります。予算措置、補助金として地方スポーツ振興費補助金、国の補助金を活用します。県もこれに合わせて補助金を設定していきまして、補助率が補助対象経費に対して3分の1ずつという負担割合で補助金メニューが設定されています。課題などについて。今までの部活動は教師のボランティアにより活動していたが地域クラブの活動には指導者の謝金などの経費が必要になります。NPO法人自体の運営費も必

要となってきます。受益者負担として参加生徒からの月会費 2 千円を想定していますが、徴収いたします。国、県の補助金を活用しますが、市の負担も大きくなるため、補助金に頼ることがないような持続可能な NPO 法人の運営が求められております。NPO 法人にはスポンサーの獲得や賛助会員による支援を活用した運営が求められています。

- 副市長より ただ今の説明対しまして、ご意見ご質問等はございますでしょうか。ないようですので、協議としては終了でよろしいでしょうか。では（３）報告事項です。アジア・アジアパラ競技大会観戦について、アジア・アジアパラ競技大会採火式・聖火リレーについて、YATOMI スポーツフェスティバルについて、３件について事務局から。
- 生涯学習課課長補佐より 資料 8。アジア・アジアパラ競技大会採火式、聖火リレーについて。アジパラの採火式を行うのですが、こちらの内容については 10 月 10 日（土）に行う予定です。資料的なものが現在調整中でして、資料的なものはないのですが、口頭で概要だけ説明します。アジパラとしての採火式を弥富市で行います。日にちは 10 月 10 日（土）を予定しています。会場は社教センター。会場の詳細については屋内か屋外か検討中です。屋内であれば第 1 多目的室を想定していますし、屋外であれば、はなのき広場を想定しています。内容に関しては採火するような行為を行います。場合によっては実際、火を使う可能性がありますので屋外も想定して調整している最中です。障害者施設の方々に協力をお願いしている最中でして、飾りつけ、オブジェ的なものの作成を依頼したりとか、このあとスポーツフェスティバルでも出てくる方ですが、車いすレーサーの吉村さんにも来ていただいて採火式を盛り上げていただくような計画で、現在調整中です。アジパラ採火式については口頭での説明でご了承願います。続いて、資料の聖火リレーについて。右上に「未定稿追記財産申請中」とあります。何かといいますと、表題のロゴマークや右側に出ている「ホノホン」というキャラクターに関して、使用するにあたり、現在使っているのかどうか組織委員会に申請をしているのですが明確な回答をいただいていないものですから、このような表現を付けさせていただきました。弥富市で許可をいただかないと、このような形のものは一般的には配布できませんので、この資料に関してはこの場限りでのご利用でとどめていただきますようお願いいたします。日程的にはこちらが先になるのですが、聖火リレーを 9 月 12 日（土）午前 11 時から行います。場所は三ツ又池公園。ランナー、区間数とありますが、19 区間。1 区間 1 人、だいたい 100 メートルくらいですが、ランナーが走るようになります。実際、火のついたトーチを手で持って走っていただくような形です。この中、19 人のランナーの内訳を簡単に説明します

と、応募制で応募した、応募によって選考で決まった方が12人。一般ランナーと表現しますが、応募して選ばれた一般ランナーの方12人です。すでに決まった本人には連絡がいつています。では残りの7人はどのような方か。1人は組織委員会から派遣される応援ランナーの方がおみえになります。すでに発表されているのですが、SKE48メンバーの熊崎晴香さんが応援ランナーとして走っていただくことになります。残りの6人に関してはまだ決定していません。パートナー企業やスポンサー企業から派遣されるランナーの方が6人。おそらく今、調整中だと思いますが、企業の方で関連する方がランナーとして来ていただけることを想定しています。以上19人の方で三ツ又池公園をぐると1周100メートルずつ。トーチを掲げながら走るイメージで準備をしています。

- 学校教育課課長より 資料9。アジア・アジアパラ競技大会観戦について。市内小学校及び特別支援学校に通う6年生の児童を対象に、アジアパラリンピックを観戦させる行事を計画しています。日程については下記の通りです。10月19日にIGアリーナで車いすバスケの観戦、大藤、栄南、十西、日の出の4小学校が試合を観戦する。パラ陸は20日、21日、22日で、瑞穂陸上競技場でそれぞれ弥生小、桜と十東小、白鳥小という形で観戦を予定しています。枠外ですが、10月21日に学校観戦ということで桜小学校の3年生、4年生についても10月21日、IGアリーナで車いすバスケの観戦をする予定です。なお中学生については部活動単位で観戦をする予定です。
- 生涯学習課課長補佐より YATOMI スポーツフェスティバルについて。資料10。本年も開催するために準備を進めていまして、第4回目です。名称は第4回YATOMI スポーツフェスティバル。今準備を進めています。開催日は10月18日（日）を予定しています。内容については、ちらしのおもて面の下に表記してありますが、昨年も開催したのですが「ラジオ体操、みんなで楽しく」と書いてありますが、オープニングイベント的な立ち位置で午前8時半から、受付は8時15分からです。10時までラジオ体操の講習会的なものを一般市民の方を含めてやりたいと考えています。まだちらしは作成中でして、会場は総合体育館アリーナで開催します。昨年はグラウンドで開催するように準備をしたのですが、急な雨の関係で中に急遽移動して行いました結果、中のほうがやりやすいという意見もたくさんいただいておりますので、本年度は始めから体育館のアリーナで行うように準備をしています。来ていただくのは、一般財団法人の簡易保険加入者協会という団体、非常にご支援いただいております、本年5月17日にも来ていただいた方で、体操の先生である鈴木大輔さん。あとは、おしみありさん。ピアノ伴奏者として幅しげみさんを招いて、さらに盛り上がるような形で

ラジオ体操を行いたいと考えています。うら面をご覧ください。ラジオ体操を含めて各施設内で設置するブース、体験コーナーを紹介しています。NEW と書いてあるのが今年度初めて行う予定で準備を進めている3つのブースです。まずはGボール体験。バランスボールのようなものを使って体験する講習会というイベントを想定しています。新体操の体験です。ラジオ体操の先生として紹介した、おしみ先生が新体操をやっている方ですので、本格的なというか手軽に楽しめるものを含めて新体操の体験会をやっていただけるよう調整しています。3番目、スラックライン。これ昨年、滑り込みで非常に狭い場所でちょっとやっていただきました。専用ベルトの上で綱渡りみたいなバランス感を取りながら、若干飛んだりするような、ちょっと変わったバランススポーツがありまして、今年度に関してはもっと広い会場、アリーナの2分の1くらいの広いスペースを使って、本格的な機材も、お金がかかるのですが、お願いして派手な形でやっていただくようお願いする予定です。これも調整中です。基本的にはこの3つのイベントが新しく開設するものです。後半の部分は例年、各種団体、スポーツ委員とかレクリエーション協会の方とか、連携を結んでいる明治安田生命さんによる健康チェックとか、非常に好評であるみなさんの体操系の健康のものとか、あとはニュースポーツ体験とかスポーツレク体験、弥富スポーツクラブの体操系とか。あとは、やとみ放課後アカデミーに関しても、フライングディスクに関して、これも昨年グラウンドで滑り込みでやっていただいたディスクの遠投を、指導者の方で世界レベルの方がいまして、その方が投げると文化広場の端から端まで簡単にディスクが飛んでいくという、子どもたちに大好評だったものを本年お願いすることになっています。それに加えていくつか今後の調整次第で、やとみ放課後アカデミーよりいくつかの提案を受けていますので可能であれば実施したいと思っています。

- 副市長より 3点について、皆様からご意見ご質問等ございますでしょうか。採火式と聖火リレーについては委員さんには案内はいくんですか。行くのであればお願いをしっかりとさせていただいて、アナウンスをしていただくようお願いをしてください。ないようですので、その他、何かありますか。
- 三浦主幹より 別紙の①②③の水泳授業民間委託についてのアンケート結果をご覧ください。本年度この夏に十四山西部小学校児童70名を対象にプールが使えないということで、民間委託をしていただき、その子どもと保護者と十西小の教員のアンケートをまとめたものがこちらの資料です。別紙①ですが、子どものアンケート結果です。今までの学校での水泳と、屋内プールの、しかも教師ではないプールのインストラクターによる授業で、今までと違う形で授業を体験した結果です。子どもたちの声としてはプールの授業は民間委託になっても「楽しかった」「インストラクターに教

えてもらって上手になったよ」「先生の教え方も分かりやすかった」「屋内のプールは泳ぎやすかったです」と、大半の子どもたちがプラスとして捉えてくれました。そしてバス移動ですが、これも70名中67人が「安全に乗ることができた」と回答しました。安全という言葉とは違ってくるのですが、3名の「安全に乗れなかった」の理由を詳しく聞くと、1名が「車酔いをしたから」、2名が「バスに乗っていてシートベルトをしていたんだけど、ちょっとテンションが上がってふざけてしまった」と自己申告で「安全じゃない」に記入したということでしたので、ほとんどのお子さんは安全に乗れたという結果です。続いて保護者の結果においても、保護者の方は初の試みであったということで、意外にも「そう思う」という回答や「とてもよい」の次の「よい」という回答が多くありました。全体として民間委託に対する水泳指導においては肯定的な意見をいただいております。最後の教員のアンケートに関しましても10名の回答ですが、「民間委託はありがたい」という多くの言葉をいただいております。この3者とも「安全なプール指導ができるということ」「熱中症対策等を考えなくていいということ」「体力向上にもつながる」という声が共通しています。着衣泳も民間さんに対応していただいたというところもありありがたいという声ももらっています。今後の教員の働き方改革の面におきましてもプール管理がないだけでもすごくありがたいことだと思います。

- 副市長より ただ今の説明につきまして何かご意見等はありませんか。なければ私から、保護者の「あまり思わない」という数が多いんですが。これは詳しい、思わないというのがあるんでしょうか。
- 三浦主幹より こちらは、実際に保護者の方が子どもたちの水泳指導の様子を見ていないので、今後、保護者の方も子どもたちの様子を見て、実際に行って見ていただくことで、この数値は変わってくるのかなと思います。そのためあくまでも保護者の方の想像の中での数値じゃないかなと考えられます。
- 副市長より では、思わない理由というのは具体的に書かれているわけではないんですね。
- 三浦主幹より そうですね。資料の後半にも文章表記をいただいているのですけれど。
- 副市長より 水泳授業については皆さん好意的に受け止めているという評価となったということですね。ほかには、その他はよろしいでしょうか。ではないようですが、全体を通して皆様から報告し忘れとか気になったところとかはございませんか。ないようですので、事務局にお返しします。

.....○.....

8. 閉 会

- 部長より 長時間にわたり、多岐にわたる審議をいただきました。ありがとうございます。では、これで会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

.....○.....